

授業科目名	臨床運動学	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	開発 基文、松田 伍央、井東 優貴	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 基礎運動学で学んだバイオメカニクスや関節運動学を振り返りながら、力学観点から日常生活上の動作を分析し、作業療法評価に結びつける一助とする。</p> <p>〔学習目標〕 ①動作を力学的視点で捉える ②正常動作を説明する ③正常動作を分析できる ④中枢神経疾患患者の動作を分析できる（運動障害を分析する）</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	オリエンテーション バイオメカニクス①				〔開発〕
第 2 回	バイオメカニクス②				〔開発〕
第 3 回	立ち上がり／座り グループワーク演習				〔開発〕
第 4 回	立ち上がり／座り				〔開発〕
第 5 回	持ち上げ／移乗 グループワーク演習				〔開発〕
第 6 回	持ち上げ／移乗				〔開発〕
第 7 回	車椅子／グループワーク演習				〔開発〕
第 8 回	起き上がり（講義）				〔開発〕
第 9 回	歩行①歩行の筋活動				〔井東〕
第 10 回	歩行②歩行の発達と異常歩行				〔井東〕
第 11 回	運動学習				〔井東〕
第 12 回	動作分析演習①（静止姿勢）				〔松田〕
第 13 回	動作分析演習②（静止姿勢）				〔松田〕
第 14 回	動作分析演習③（起き上がり動作）				〔松田〕
第 15 回	動作分析演習④（起き上がり動作）				〔松田〕
評価方法	レポート等課題（100％）にて評価する。				
教科書 参考図書	筋骨格系のキネシオロジー（医歯薬出版） 〔教科書〕 基礎運動学（医歯薬出版） 標準理学療法学・作業療法学 作業療法評価学（医学書院）				
	〔参考図書〕 日常生活活動のキネシオロジー（医歯薬出版） 介助にいかすバイオメカニクス（医学書院）				
履修上の 留意点	分析をするときは、それが出来る格好で受講してください				
メッセージ	1年生で学んだ解剖学、生理学、運動学からどのように作業療法士が臨床の現場で応用していくのかについて考えます。十分な復習のもとでこの講義・演習に望むことを希望します。				